

神経研究の進歩 第28巻 総目次

1984年(第1号～第6号)

数字は通巻頁数, () は号数

〔特集 随意運動のメカニズム〕

随意運動メカニズムの特集にあたって……………久保田 競…………… 3(1)

随意運動の発現に関する神経回路……………水野 昇…………… 7(1)

運動野の構造と機能……………篠田 義一……………26(1)

皮質経路の反射と随意運動……………松波 謙一……………47(1)

運動前野と随意運動……………Steven P. Wise……………58(1)

補足運動野と随意運動……………丹治 順……………67(1)

PET, rCBF 測定から見たヒトの

随意運動のメカニズム……………柴崎 尚……………77(1)

小脳と随意運動—この十年の成果

—……………真野 範一……………87(1)

前頭前野と随意運動……………久保田 競…………… 103(1)

前頂連合野と随意運動……………酒田 英夫…………… 112(1)

運動関連電位と随意運動……………佐々木和夫…………… 123(1)

随意性の眼球運動……………彦坂 興秀…………… 138(1)

大脳基底核と随意運動……………吉田 充男…………… 153(1)

対談 ロボットの運動と人間の運

動……………加藤一郎・酒田英夫…………… 163(1)

〔特集 ポジトロン CT の神経研究への応用〕

神経研究におけるポジトロン核医

学の役割……………館野 之男…………… 183(2)

ポジトロン放射薬剤の開発と神経

研究

井戸 達雄・石渡 喜一・川島孝一郎…………… 190(2)

局所酸素代謝および糖代謝の解析

モデル— ^{15}O および ^{18}F FDG の

利用を中心として—……………遠藤 真広…………… 201(2)

PET による脳機能解析……………柴崎 尚…………… 211(2)

ポジトロン CT による大脳局在症

状の研究……………河村 満・平山 恵造…………… 229(2)

ポジトロン CT による脳循環測定

上村 和夫・菅野 巖・村上松太郎

三浦 修一・高橋 和弘・矢戸 文男…………… 238(2)

脳血管障害とポジトロン CT

矢戸 文男・上村 和夫・犬上 篤

小川 敏英・山口 龍生・鎌田 憲子

菅野 巖・村上松太郎…………… 250(2)

$^{11}\text{CO}_2$ による Dynamic Positron

Emission Tomography とそ

の生化学的背景について……………桜川 宣男…………… 258(2)

てんかんと PET……………清水 弘之・石島 武一…………… 268(2)

脳腫瘍と PET

鳥塚 莞爾・米倉 義晴・佐治 英郎

棚田 修二・比嘉 敏明・玉木 長良

千田 道雄・西村 一雅・中野 善久

小西 淳二・藤田 透・小林 映

滝 和郎・石川 正恒…………… 275(2)

ハンチントン舞踏病とポジトロン

CT

児玉 和宏・矢戸 文男・山中 正雄

馬場 章・田町 誓一・山崎統四郎

館野 之男・井上 敏・佐藤 孝三…………… 287(2)

中枢神経変性疾患と PET

……………横井 風児・安藤 一也…………… 297(2)

内因性精神病と PET……………豊田 純三…………… 308(2)

ポジトロン CT による精神疾患研

究—現状と展望—

苗村 育郎・井上 修・山崎統四郎…………… 318(2)

〔特集 排尿の神経機構とその障害〕

排尿の神経経路……………清水 信夫…………… 373(3)

排尿の生理……………岡田 博匡…………… 387(3)

排尿の薬理……………豊嶋 穆…………… 396(3)

膀胱内圧測定……………今林 健一…………… 406(3)

尿道閉鎖圧曲線の臨床的意義……………近藤 厚生…………… 418(3)

尿流量測定……………八竹 直…………… 424(3)

膀胱尿道造影

有馬 正明・桜井 昴・生駒 文彦…………… 429(3)

膀胱筋電図……………白岩 康夫…………… 435(3)

外括約筋筋電図……………大沼徹太郎…………… 442(3)

神経因性膀胱の鑑別診断

服部 孝道・安田 耕作・平山 恵造…………… 449(3)

脳血管障害における排尿障害

……………土田 正義・能登 宏光…………… 457(3)

変性性神経疾患における排尿障害

服部 孝道・平山 恵造・安田 耕作… 465(3)

外傷性脊髄障害における排尿障害

……………宮崎 一興… 473(3)

二分脊椎における排尿障害

—X線学的, 尿水力学的検査

法よりの検討……………福井準之助… 479(3)

遺尿症—神経因性膀胱の観点から—

……………安藤 徹… 488(3)

神経因性膀胱の治療

……………安田 耕作・服部 孝道

山城 豊・島崎 淳… 494(3)

〔特集 神経系の浮腫〕

血液脳関門の機能と発生

……………伊藤 梅男・稲葉 稔… 539(4)

透過性に関する血管とグリア

……………谷 栄一・夏目 重厚… 555(4)

血脳関門の一時的・生理的開放

……………挟間 章忠・富和 清隆… 565(4)

薬物による血脳関門の開放

……………岩崎 祐三・鈴木 倫保

山本 悌司・今野 秀彦… 572(4)

血液-脳関門とリポソーム

……………小山内たか・永井 克孝… 580(4)

脳浮腫の生化学……………中沢 省三… 589(4)

病巣修復の一過程としての脳と末

梢神経の浮腫—胎児脳形成機

序の再現—

生田 房弘・吉田 泰二・大浜 栄作

小柳 清光・武田 茂樹・山崎 一徳

渡部 和彦…………… 599(4)

脳浮腫の予防・治療

……………溝井 和夫・鈴木 二郎… 629(4)

脊髄の浮腫とその対策—多発性硬

化症における検討を中心に—

……………小島 重幸・平山 恵造… 644(4)

神経根の浮腫……………大浜 栄作・武田 芳樹… 654(4)

末梢神経の浮腫—実験動物および

ヒトにおける末梢神経病変と

神経内鞘浮腫……………大西 晃生… 660(4)

〔特集 ミオクローヌス〕

ミオクローヌス (ミオクロニー)

の症候学とその混乱の歴史…平山 恵造… 701(5)

臨床型および病理学的裏づけ

古典的なミオクローヌスでんか

ん……………山田 通夫… 714(5)

その他の変性疾患とミオクロー

ヌス—特に neuronal ceroid-

lipofuscinosis について—

鴨下 重彦・鈴木 貞行・小林 誠… 724(5)

DRPLA におけるミオクローヌ

ス

内藤 明彦・白川 健一・近藤喜代太郎… 733(5)

CJD および SSPE とミオクロ

ーヌス……………宇川 義一・作田 学… 743(5)

Anoxic Encephalopathy におけ

るミオクローヌス—Lance-

Adams 症候群を中心に— …横地 正之… 752(5)

中毒性疾患とミオクローヌス…古川 哲雄… 767(5)

Palatal Myoclonus ……長岡 正範… 774(5)

Spinal Myoclonus……………加藤 元博… 790(5)

Negative Myoclonus ……川瀬 康裕… 797(5)

神経生理学的研究

ミオクローヌスに伴う脳電位…柴崎 浩… 802(5)

ミオクローヌスの病態生理と長

経路反射 (Long-loop Reflex)

渡辺 憲・島田 康夫・豊倉 康夫… 814(5)

Intention Myoclonus に対する

定位視床 Vim 核手術……………榎林博太郎… 824(5)

薬物治療の現況……………水野 美邦… 830(5)

今後の研究への問題提起……………榎林博太郎… 842(5)

〔特集 脳のシンポジウム〕

1. 開会の辞……………中西 孝雄… 881(6)

2. 挨拶……………榎林博太郎… 882(6)

3. 神経と免疫

最近の進歩A

神経免疫学序説……………井形 昭弘… 883(6)

神経免疫学の成果

(1) 重症筋無力症の解明

—アセチルコリン受

容体の免疫学的役割

と問題点—

高守 正治・城戸 俊一

奥村 誠一・糸氏 薫

井手 芳彦…………… 890(6)

(2) 重症筋無力症の免疫

学的病態解明

四宮 範明・矢田 純一… 902(6)

(3) 実験的アレルギー性
脳脊髄炎(EAE)

田平 武・並河 正… 910(6)

(4) 脱髄機序の解明……斎田 孝彦… 919(6)

最近の進歩B

免疫学的指標の臨床的意義

(1) 補 体

佐野 雄二・井形 昭弘… 929(6)

(2) 免疫グロブリン……高瀬 貞夫… 937(6)

神経系とリンパ球の共通抗原

……楠 進・永井 克孝… 957(6)

免疫性神経疾患の治療—特に

抗体依存性疾患について

——…西谷 裕… 968(6)

4. 神経疾患と酵素異常

脳のカテコールアミン生合成酵

素—チロシン水酸化酵素と

ビオプテリン補酵素を中心

に——…永津 俊治… 977(6)

脳のグルタミン酸脱炭酸酵素と

コリンアセチル基転移酵素

について……金澤 一郎… 984(6)

神経伝達物質のレセプタ……田中千賀子… 993(6)

単一神経細胞の伝達物質生成酵

素活性……加藤 尚彦…1001(6)

5. 神経心理学の進歩

Disconnexion syndrome について

て—分離脳の研究から——杉下 守弘…1009(6)

CT 所見よりみた失語の類型学

……浜中 淑彦・大橋 博司

大東 祥孝・波多野和夫…1020(6)

古典失行の症候学—その分類上

の問題——…山鳥 重…1032(6)

後頭葉症状について—相貌失認

の問題を中心として—

鳥居 方策・玉井 頭・倉地 正佳…1039(6)

6. 挨拶……塚田 裕三…1050(6)

7. 閉会の辞……本間 三郎…1051(6)

〔原 著〕

衝動性眼球運動(サッケード)の

加齢変化

巖 建夫・加瀬 学・加藤 隆正… 335(2)

筋ジストロフィー症の発症機序に

関する研究—ジストロフィー

鶏発症早期における活性酸素

関連諸酵素の異常について—

……水野 美邦… 345(2)

マウス松果体細胞の加齢変化—電

子顕微鏡像とその形態計測—

……長谷川章雄… 505(3)

水俣病脊髄病変についての知見補遺

—とくに後角神経細胞障害に

ついて—

衛藤 光明・末吉 信之・武内 忠男… 517(3)

長期葉酸欠乏がマウス神経組織の

代謝に及ぼす影響—筋萎縮性

側索硬化症での変動と関連し

て——…若林 行雄… 671(4)

Parkinson 病の levodopa 療法に

よる12年間の治療経過の解析

—Carbidopa・levodopa 長期

投与例調査小委員会からの報

告—

加藤 正夫・新 城之介・安藤 一也

伊藤 清・大本 堯史・古和 久幸… 681(4)

〔綜 説〕

前庭眼反射弓の神経機構とその発

達……内野 善生… 845(5)

〔追悼 故小川鼎三名誉教授を偲ぶ〕

小川鼎三先生の略歴と主要業績…… 366(3)

小川鼎三先生を偲びて……萬年 甫… 372(3)

〔書 評〕

Edited by Lewis P. Rowland

“Merriitt's Textbook of

Neurology, 7th Edition” … 平山 恵造…1052(6)